

宮 池 あきら

みやのけ 明レポート



「挨拶」

奈良市議会議員 宮池明



常日頃、支えて下さる支援者の皆様や市民の皆様様に心より感謝申し上げます。

皆様より安心して更に市政を任せていただけるように一層の精進を重ね、夏の暑さに負けないほど市政への取り組みに情熱を傾けてまいる決意でございます。

今号は、二十三年度予算関連の質問を中心に代表質問しましたので、その内容を中心にご報告させていただきます。

3月定例会代表質問項目

- ①平成23年度予算案について
- ②事業仕分けについて
- ③連絡所の統廃合の白紙撤回について
- ④保健所等複合施設の開館にむけた地域住民との合意形成について
- ⑤奈良市版1%支援制度について
- ⑥23年度の子ども手当について
- ⑦子宮頸がん予防ワクチン等接種の公費助成について
- ⑧火葬場の移転について
- ⑨クリーンセンター移転について
- ⑩老春手帳優遇制度の優待乗車証制度について
- ⑪市の行財政改革の方向性について
- ⑫ボトムアップ型の政策形成について
- ⑬入札制度改革について
- ⑭観光の重点予算について
- ⑮学校の耐震化について

3月定例会代表質問から(抜粋)

ワクチン接種の公費助成について

質問 かねてより会派として取り組んできた子宮頸がん予防ワクチン接種事業と小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン接種事業の平成23年度公費助成制度の導入についてどうか。

市長 子宮頸がん予防ワクチンの対象者は中学一年生から三年生を、そしてヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンは生後二カ月以上五歳未満を対象とします。また、ワクチンの接種は県内登録医療機関における個別接種を予定しています。一回接種費用について、一回

当たりの自己負担額は子宮頸がん予防ワクチンで千五百円、小児用肺炎球菌ワクチンで千円を考えております。

なお、ヒブワクチンにつきましては、既に平成二十二年四月から一回三千円の一部助成を行っておりますが、来年度からは本事業に組み込まれ自己負担は一回当たり八百円となり、また一方で健康被害発生時の対策も他の予防接種と同様に補償されます。



ボトムアップ型政策形成について

質問 行財政改革を効果的に進める上で、市民の合意形成や限られた予算の中で、公共サービスの効率と効果の両面性を求めると、地域の特性や市民ニーズを的確にとらえる必要があります。ボトムアップ型の政策形成が求められる。市の住民組織には奈良市自治連合会または地区自治連合会があり、これら団体と行政との連携を図ることも重要。地域コミュニティの担い手でもある奈良市自治連合会を行政の政策形成や事前・事後評価におけるパートナーとして連携強化を図れないか。

市長 新しい公共の担い手としても自治会、自治連合会の果たす役割は非常に大きいと考えており、自治会組織には協働のパートナーとして大きな期待をさせていただいています。

← 裏面に続く

← 表面の続き

今後は、地域課題の解決や地域の活性化のために、定期的に意見交換や議論する場をふやし、地域がみずから実行すること、また市が独自に実施をするもの、そしてお互いが協働して行うことなどの整理も行いながら、政策形成に関する提言をちようだいし、連携を深めてまいりたいと考えております。

学校の耐震化について

質問 学校施設の新年度耐震化事業計画はどのようになっているのか。

また、国が進める平成二十七年における耐震化率九〇%の達成目標に市は全国平均よりおくれしているが、市の耐震化率を二十七年までに九十%達成する見込みは。

教育長 第二次耐震診断を幼・小・中学校で前年度と同数の十七棟、補強設計を小・中学校で前年度より十三棟増の二十七棟、補強工事は小・中学

校で前年度より三棟増の二十一棟を計画しております。

これらの事業費として前年度予算より約六億九千万円増の十二億五千三百二十万円を計上し、この補強工事が完了しますと、耐震化率は六十一・四%となる見込みです。

次に、耐震化率を平成二十七年までに九十%達成する見通しですが、災害発生時の緊急避難所となる地域防災の拠点でもあることから耐震化は急務の課題であります。

市の耐震化率は、全国平均と比較しても低い状況にあり、今後五年間で耐震化率を九十%まで押し上げるには多額の経費を要しますが、国の補助を有効に活用し積極的に推進してまいりたい。



現地調査しました！

JR 奈良駅西側の「はぐくみセンター(奈良市保健所・教育総合センター)」と南永井町にある南福祉センターへ現地調査に行きました。いずれも4月にオープンされたので、会派で活用実態を調査してまいりました。

○はぐくみセンター



○南福祉センター



建設委員会質問から(抜粋)

佐保川にかかる歩道



歩道の安全管理について

質問 周辺住民より指摘されている、佐保川にかかる市道沿いの歩道の安全管理について

課長 老朽化箇所の改修方法は様々な観点から検討する必要がありますが、今年度には修繕計画を専門のコンサルタントに発注を予定しており、改修に向け事業を進めてまいりたい。

